

# 昭和46年度 和歌山県文化功労賞

いわ つる りゅう ぞう  
岩 鶴 龍 三

住 所：兵庫県西宮市

出 身 地：和歌山県那賀郡打田町

生 年：明治27年

## ◎業績及び経歴

大正10年大阪医科大学卒業後直ちに同校医科学研究科に入り医化学の研究に没頭され、大正14年ドイツに留学、カイゼル・ウィルヘルム研究所において生化学の研究を行ない、帰朝後も研究を続けられて昭和2年医学博士の学位を受けられると共に母校の講師となり、各種研究および指導に専念された。

昭和12年には胃癌の早期診断法としての「KIK反応」を発表、世界の学界に大きな反響を呼んだが、結核治療にも貴重な貢献をされ、昭和19年に正五位勲四等瑞宝章を授与された。

昭和21年和歌山県立医学専門学校に着任以来、大学の基盤作りと附属病院の整備拡充に尽力せられ、翌22年医大内科教授ならびに院長となり、母校教授の招へいも断って県立医大同病院の基盤固めに献身され、臨床、基礎研究、大学の管理運営の各面に専念、学長就任以後も新制大学への切替え、大学院の設置等に貢献され、現在も同大学名誉教授、日本内科学会名誉会員として斯道のためにつくされている。